

授業科目

臨床検査総論実習II

担当教員名 長濱 大輔	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		○

授業の概要

実習を通じて、腎・尿路系疾患、消化管出血、脳脊髄疾患などにおける一般臨床検査の役割を把握する。その際、基本的な技術習得と同時に検査データを評価する力を養う。

授業の目的

形態学的検査法を主とする技術を習得し、正確な検査結果が得られるようにする。そして一般検査データの評価について発表することができる能力を養う。

学習目標

1. 尿沈渣検査の実際を確実に体得する。
2. 各種の尿沈渣成分を注意深く観察し、その臨床的意義について説明ができる。
3. 便潜血検査と虫卵検査について説明できる。
4. 脳脊髄液検査方法の実際を体験し、基準範囲の把握と臨床的意義について説明ができる。
5. 食物残渣の観察および他の体内成分の検査について説明できる。
6. 一般検査データの評価と診断について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1.2	尿沈渣における生物顕微鏡の構造と使用方法、境検の仕方、記載方法	実習	長濱 大輔
3.4	尿沈渣成分の観察：赤血球、白血球	実習	長濱 大輔
5.6	尿沈渣成分の観察：上皮細胞、円柱	実習	長濱 大輔
7.8	尿沈渣成分の観察：結晶、細菌、酵母様真菌など	実習	長濱 大輔
9.10	尿沈渣成分のスライド観察	実習	長濱 大輔
11.12	糞便潜血反応検査と虫卵検査	実習	長濱 大輔
13.14	脳脊髄液検査(性状、グロブリン反応、細胞数)	実習	長濱 大輔
15.16	脳脊髄液のタンパク定量検査	実習	長濱 大輔
17.18	食物残渣の臨床的意義と便中食物残渣の観察(胃液・十二指腸液・喀痰)	実習	長濱 大輔
19.20	尿沈渣を中心とした体液成分のスライド観察	実習	長濱 大輔
21.22	一般臨床検査結果の評価(症例検討会)	実習	長濱 大輔
23	実技まとめ	実習	長濱 大輔

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	最新臨床検査学講座 一般検査学	宿谷 賢一、三村 邦裕 他	医歯薬出版株式会社	2016年		
参考書	尿沈渣 第5版	長濱 大輔	文光堂	1997年	4,000円	
	標準臨床検査学 臨床検査総論	伊藤機一、松尾収二	(株)医学書院	2013年	3,000円	
	尿沈渣アトラス	伊藤 機一	シスメックス株式会社	2014年		
その他の資料						

評価方法

定期試験(90%)
レポート(10%)

履修上の留意点

一般臨床検査に関する基本的な技術を習得するので、できるまで繰り返し行うこと。

オフィスアワー・連絡先

nagahama@nuhw.ac.jp